

# 事業所評価集計結果

2024.03.24

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係は適切であるか	4			小学生と中高生エリアに分けており、利用人数によって偏りがある為、各エリアの人数が多くならないように考えながらスケジュール作成を行っている。
	②	職員の配置数は適切であるか	4			基準以上の配置をしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	2		玄関に手すり、スロープを設置している。廊下に遊び道具を置いていることや室内を構造化をしている為、室内に通りにくいエリアがあり、改善策を検討していく。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4			活動開始前や活動後、月1の定例会議の際にほぼ全職員で、スケジュールや業務、支援内容等について、振り返り、改善する取り組みを行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	1		2017年度よりアンケート調査を年度末に行い、いただいたご意見の中から改善が必要なこと等はミーティングを行っているが改善にまで繋がっていないものもある。
	⑥	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			2017年度よりホームページで公表している。
	⑦	第三者による外部評価を行ない、評価結果を業務改善につなげているか			4	第三者による外部評価は行っていないが、今後実施を検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行なうために、研修の機会を確保しているか	4			外部研修への参加や法人内部での勉強会に参加することや部署内で勉強会を行うなど資質向上に努めている。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			面談で保護者のニーズの聞き取りや利用時に利用者へどういうことが出来るようになりたいかなど聞き取りを行ったうえでケース会議を実施し、個別支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			標準化されたアセスメントツールを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			生活シナリオ(個別のスケジュール)を職員で分担して作成し、活動ミーティングで共有している。 創作等の活動に関しても担当分担を行い、内容について全員で共有しながら立案、準備、提供をしている。
		活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか				生活シナリオを立てるスタッフが固定化しないように役割分担を行い、平日の午前中に生活シナリオ作成担当者を中心に活

適切な支援の提供	⑫		4			動ミーティングを行い、活動内容が固定化しないよう意見交換をしながら取り組んでいる。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援をしているか	4			平日・休日に分けて課題設定を行っている。また、定期的に内容の確認と見直し、必要に応じて変更しながら支援を行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			個別支援計画は個別活動を基本に作成している。集団活動については、生活シナリオにグループ活動を組み込んで実施している。
	⑮	支援前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			支援前に必ずは困難である為、平日は午前中に、休日に関してはその週の火曜日や水曜日、当日の朝にミーティングを行い、送迎スタッフに引継ぎを行う等、役割について確認をしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行ない、気付いた点等を共有しているか	4			送迎終了後、引継ぎの時間を設けており、その中で情報共有を行っている。また、翌日の活動ミーティングの中でも様子等の共有を行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			日誌の記入を業務後に行い、職員全員が目を通すようにしている。日誌に記入するのみでなく、翌日や利用日の活動ミーティングの中で再度全職員へ発信し、支援の検討・改善に繋げる事ができるようにしているが、実施開始時期がずれることがある。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			6か月に1回モニタリングを行い、計画の見直し・作成・変更を行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4			基本活動を組み合わせ支援を行っている。感染症対策を行いながら地域の行事に参加するなど、余暇活動の幅を広げる取り組みを行っている。
	関係機関や保護者との連携機関や	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	4		
㉑		学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	3	1		送迎に関しては保護者に連絡帳や電話で伝えている。児童の様子は学校迎えの際に情報共有を行っている。行事予定を学校から受け取っているが、事業所の行事予定は渡していない。
㉒		医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			4	医療的ケア児の受け入れを行っていない。
		就学前に利用していた保育所や幼				相談員から情報提供を受けたり、担当者

保護者との連携	⑳	稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4			会議に参加し情報共有に努めている。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、これまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4			移行支援会議参加への呼びかけがあった際は参加調整が可能な範囲で参加することや、難しい場合には情報を提供するなど行っている。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		4		今年度は依頼していないが、必要に応じてこども総合療育センターの随時支援を受け、連携やスキルアップに努めていく。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			4	今後、交流の機会の検討等を行っていく。
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4			子ども部会(2ヶ月毎開催)のコアメンバーとして児発管が携わっている。子ども部会で勉強会や研修がある際は、児童指導員等も参加できる体制を整えている。また、全体会議の委員に理事長が就任している。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	1	3		送迎の際に利用時の様子や状況を伝えているが、十分に時間を取れない場合は、電話で様子等について説明を行っている。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			4	
保護者への説明責任等	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	1		契約時及び、ご家族懇談会時に説明を行っている。また、今年度から個別のお便りで日頃の支援内容を伝える取り組みを行った。
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			相談があった場合はその都度支援方法等の助言を行い、必要に応じて面談している。また、ご家庭でも実施しやすいように支援道具等の提供も必要に応じて行っている
	㉙	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		3	1	懇談会や親子療育、拠点の行事(クリスマスパーティー、新年お祝い会)を実施し、保護者同士の交流の機会を設けている。保護者同士の連携の支援は取り組んでいない。
	㉚	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	1		ご意見をいただいた際は話し合いを行い、改善方法の検討・保護者への報告・周知をしている。
	㉛	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			月に1回おたよりを発行している中で行事予定や活動報告を行っている。また、行事後にホームページで活動の様子を公開している。

③⑤	個人情報に十分注意しているか	4			個人ファイルはキャビネットに保管している
③⑥	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			児童の特性に応じてカードを使用している。必要に応じて個別に月間スケジュールを渡し、情報共有している。
③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4			「星まつり」、「もちつき」の際に区長・民生委員等、地域の方に参加いただく場を法人として設定し、地域の方との交流に取り組んだ。
③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		4		感染症対応マニュアルは毎年配布している。緊急時対応マニュアルと防犯マニュアルは策定しているが、配布は行っていない。
③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			避難訓練を年2回(9月、3月)実施している。
④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			法人に虐待防止委員会があり、勉強会や虐待防止研修を行っている。
④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			4	現在は身体拘束が必要な利用者はいないが、必要になった際は適切な対応が出来るように知識や体制づくりを行っている。
④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	3		保護者から情報提供を受け、食材の変更除去等の対応を行っている。
④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		4		法人全体のヒヤリハットを活用し、共有している。